

LED照明
使用

節電 の夏

みんなで
節電に取り組もう！

環境課(本庁舎3階)では、LEDの照明を使用しています。

2

節電が必要な期間と量

電力を安定供給するため、国などは北海道電力から電力供給を受けている家庭や事業者に対して、つぎのとおり節電の協力を求めています。

●節電の期間

7月23日～8月10日、 8月16日～9月7日の平日	9時～20時
9月10日～9月14日	17時～20時

●節電の目標

平成22年の夏と比べて7%以上の節電

1

なぜ節電が必要なの？

今年の夏、北海道電力管内の電力不足が心配されます。電力は貯めておくことができません。供給力を超えて電気を使おうとすると停電が発生する心配があります。

停電が発生すると、市民の皆さんの生活や企業活動に大きな影響があります。こうしたことが起きないように、みんなで節電に協力することが大切です。

3

家庭での取組

家庭では、夕方(18時～20時)の電力使用量をもっとも多くなります。この時間帯に家事や消費電力が大きい電気製品の使用を避けると、節電の効果が高まります。



節電！

家庭でできる取組の例

節電メニュー		節電効果
照明	照明の一部を消す	7%
	使用していない部屋の照明を消す	
テレビ	画面の輝度(明るさの度合い)を下げる	2%
	必要なとき以外は消す	
冷蔵庫	設定温度を「強」から「中」に変える	2%
	扉を開ける時間をできるだけ減らす	
	食品を詰め込みすぎないようにする	
温水洗浄便座	温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用する	いずれかで 1%
	使わないときはコンセントからプラグを抜く	
炊飯器	早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫で保存する	3%
待機電力	リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る 長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く	3%

※家庭では照明の節電が特に効果的！

3割程度消灯したときに7%の節電効果があります

その他の消費電力が大きい電気製品

アイロン	ドライヤー
電気ポット	電子レンジ
トースター	食器洗い機
ホットプレート	IHクッキングヒーター
エアコン	浴室乾燥機
掃除機	乾燥機

※出典 政府の節電ポータルサイト「節電.go.jp」